

認知症作業療法 活動報告（概要）

秋田県作業療法士会では、基本的に秋田県作業療法士会が様々な依頼を受け各事業への県士会員の派遣が行われている。昨年度は認知症予防事業で推進員の派遣をしている。アップデート研修を行う中で事例検討の要望があり、今年度から新たに研修を行った。開催する地域により参加人数にも影響はあるものの、複数の地域での開催を目指すと共に事例検討により、会員の認知症作業療法の取り組みや、研鑽につながるよう努力していく。認知症作業療法の研修では、他県の取り組みを参考にし、秋田県での開催を早期に実現できることを目指していく。

第1回認知症作業療法推進委員 事例検討

事例検討は医療分野、福祉分野および若年性認知症者の事例検討を行った。提供者は秋田県認知症作業療法推進委員の担当する方で、同意を得て行われた。事例検討の後、地域包括支援センターに勤務する認知症地域支援推進委員に講義をいただいた。地域支援推進委員の役割や実際の活動内容を事例を通じた生の声を聞くことができ、初期集中支援チームと共通する実際の活動など参加者の多くの反響があった。



平成30年度認知症アップデート研修

昨年に引き続きアップデート研修を行った。昨年は一人での伝達講習であったものの、今年度からは4人認知症作業療法推進委員が講師となり、より内容の充実した講習となった。昨年度一部しか受講できなかった県士会員や新人に対しての講習であり、今後もアップデート研修を継続していく予定。

第2回認知症作業療法推進委員 事例検討

秋田県は約11,000km²と全国6位の広い面積に加え、交通の便も悪く研修会を1箇所のみでの開催では県士会員に負担となっている。この現状を踏まえ、今後開催場所を複数個所で行いたいと考えている。秋田県は県南・中央・県北の3の圏域に分かれるが、第二回の事例検討では県南での開催を12月に予定している。事例の提供者も開催圏の病院・施設の作業療法士に依頼した。また、事例検討会に認知症者に関わる他職種の現状や把握、更にはネットワーク構築のためにも、講演を抱き合わせた形をとっていく。

今後の展開

- ・事例検討を行う
- ・アップデート研修を行う